

県教育委員会教育長 様
市町村教育委員会教育長 様
小学校・中学校・中等教育学校・
特別支援学校・高等学校の校長 様
英語担当指導主事 様
外国語活動・英語科担当者 様

九州地区英語教育研究団体連合会
第73回九州地区英語教育研究大会(長崎大会)
会長(高校部会) 竹嶋潤一
(長崎県立鳴滝高等学校長)
会長(中学部会) 野田希世美
(長崎市立茂木中学校長)
会長(小学部会) 神田 学
(長崎市立川原小学校長)

第73回九州地区英語教育研究大会(長崎大会)の開催について(案)

時下、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記大会は九州地区で最も大きな英語教育研究大会であり、九州各県において輪番で毎年開催しております。今年度は長崎県が開催県にあたり、現在その準備を進めているところです。つきましては、皆様の多数のご参加をお待ち申し上げますとともに、参加に際しましては、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。内容については、開設している大会サイトに詳しく載せております。なお、お申込みにつきましても下記の(8 申込について)をご参照のうえ、大会サイトを通じてお手続きを行うようお願いします。

(大会サイト：右のQRコードか下記のURLからご覧ください。)

<https://www.kyu-eiren-nagasaki.com/>



1 主催 九州地区英語教育研究団体連合会

2 主管 長崎県英語教育研究会

3 後援(予定) 長崎県教育委員会, 長崎市教育委員会, 西海市教育委員会,
長与町教育委員会, 時津町教育委員会, 長崎県私立中学高等学校協会,
公益財団法人 日本教育公務員弘済会, 一般財団法人 長崎県教育会

4 日 時 1日目:全体会 令和7年10月16日(木) 9時30分～16時45分
 2日目:分科会 令和7年10月17日(金) 9時20分～12時10分

5 会 場

長崎市民会館 (〒850-0874 長崎県長崎市魚の町5-1 TEL: 095-825-1400)

6 大会テーマ

「We Are All English Learners

～児童生徒が主体的に英語力を伸ばす英語教育を目指して～」

(大会テーマ設定の理由)

主体的な学習の大切さが提唱されて久しい。現行学習指導要領では観点別評価が取り込まれ、「主体的な学習態度」が評価項目となった。そうした主体的な学習態度を育み、生徒を正當に評価するには、もう一度教師自身が主体的に学習した経験やそこから得た知識を掘り起こすことも大切かもしれない。そうした思いでこのテーマを設定した。

7 大会日程・内容

| 10月16日(木) | | 10月17日(金) | |
|---------------------------------|------------------------|-----------|-------------|
| 受付 | 9:00～9:20 | 受付 | 9:00～9:20 |
| 開会行事 | 9:30～9:50(文化ホール) | 分科会Ⅰ | 9:20～10:30 |
| 講演 | 10:00～11:20(80)(文化ホール) | 分科会Ⅱ | 11:00～12:10 |
| 体育館に移動 | | | |
| 公開授業(授業A:高校) | 11:50～12:40(50)(体育館) | | |
| 昼休み | | | |
| 公開授業(授業B:小学校) | 13:40～14:25(45)(体育館) | | |
| 公開授業(授業C:中学校) | 14:40～15:30(50)(体育館) | | |
| 授業研究 | 16:00～16:45(45) | | |
| (会場は、小学校:大会議室、中学校:体育館、高校:文化ホール) | | | |

【公開授業者・指導助言者】

| | 授業者・勤務校 | 指導助言者 |
|-----|--------------------------------------|------------------------------|
| 小学校 | 林 由布子 教諭 (長崎大学教育学部附属小学校 5年1組 26名) | 中村 典生 教授 (長崎大学理事) |
| 中学校 | 畔勝 茜 教諭 (時津町立時津中学校 1年5組 33名) | 廣江 顕 教授 (長崎大学多文化社会学部) |
| 高校 | 高濱 良有 教諭 (長崎県立長崎東高等学校 2年7組 40名) | 隈上 麻衣 助教 (長崎大学生命医科学域 医学系) |

【基調講演】



児童生徒はお腹をすかしているか

ー英語教育で主体的・対話的で深い学びをどう実現するかー

講演者

長崎大学理事・教育学研究科教授

中村 典生 (なかむら のりお) 氏

(講師プロフィール)

略 歴: 筑波大学人文学類・同大学院教育研究科卒。

岐阜市立女子短期大学英語英文学科専任講師・准教授、北海道教育大学釧路校准教授・教授、
長崎大学教育学部教授、長崎大学副学長(入試・地域教育連携担当)を経て現職。

主要著書:

『小・中学校で英語を教えるための必携テキスト』(2022, 東京書籍)

『小学校英語教育へのAI導入は可能なのか』(2023, 花書院)

『次世代の学校教育を考える 有識者24人の提言』(2024, 総合初等教育研究所)

【分科会発表者一覧】

分科会 A (2日目 9:20~10:30)

| 番号 | 発表タイトル | 校種 | 担当県 | 発表者 |
|----|---|----|-----|---|
| 1A | 言語の働きを意識した「話すこと[やり取り]」の高校外国語科の指導 | 高 | 鹿児島 | 山元 絡 (鹿児島県立大島高等学校 教諭) |
| 2A | 目的・場面・状況等を意識した話すこと[やり取り]の言語活動の充実 | 中 | 長崎 | 櫻井 星斗 (長崎市立桜馬場中学校 教諭) |
| 3A | みんな初めて 英語ディベート実践 | 高 | 福岡 | 坂口 寛子 (福岡県立春日高等学校 指導教諭) |
| 4A | ハイブリッド学習時代における学習者支援のあり方 ～紙とデジタルの最適解を求めて～ | 中 | 大分 | 上野 敬太 (佐伯市立鶴谷中学校 教諭) |
| 5A | 観光と英語教育 | 高 | 長崎 | 浦吉 典子 (長崎県立壱岐高等学校 教諭) |
| 6A | 即興的に英語でやりとりができる生徒を育てる外国語科学習指導 | 中 | 福岡 | 池上 耕平 (大野城市立大野東中学校 教諭) |
| 7A | 専門高校での教科における探究的な学びの実践 | 高 | 大分 | 東 修平 (大分県立大分商業高等学校 教諭) |
| 8A | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校英語科における単元内自由進度学習の実践 | 中 | 沖縄 | 當間 颯太 (浦添市立浦西中学校 教諭) |
| 9A | ゴールの姿を明確にした外国語科の授業づくり ～単元計画の工夫と個に合わせた実践を通して～ | 小 | 長崎 | 鈴田 康平 (佐世保市立山手小学校 教諭) 田口 幹 (佐世保市立日野小学校 教諭) |

分科会 B (2日目 11:00~12:10)

| 番号 | 発表タイトル | 校種 | 担当県 | 発表者 |
|----|--|----|-----|---|
| 1B | 自ら英語でコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成 ～日々の言語活動の工夫を通して～ | 中 | 宮崎 | 濱島 巧成 (えびの市立上江中学校 教諭) |
| 2B | 「やりとり」を継続する力を育む英語指導の工夫 —生成 AI(Microsoft Copilot・ChatGPT)を活用した段階的アウトプット活動を通して— | 高 | 沖縄 | 川満 仁乃 (沖縄県立南部商業高等学校 教諭) |
| 3B | 英語学習において高いエンゲージメントを発揮する生徒の育成 ～自律性・有能感・関係性に着目したタスクデザインを通して～ | 中 | 鹿児島 | 安田 洋幸 (鹿屋市立鹿屋中学校 教諭) |
| 4B | 高校生の Learner Autonomy の育成 ～ディベートの導入期における指導を通して～ | 高 | 佐賀 | 秋山 拓志 (佐賀県立三養基高等学校 教諭) |
| 5B | 主体的に英語で伝え合おうとする生徒の育成を目指して ～言語活動と振り返りの 積み重ねを通して～ | 中 | 熊本 | 浜元 里菜子 (熊本市立出水南中学校 教諭) |
| 6B | クロスカリキュラム実践 ～他教科とのコラボレーション 授業を通して多角的に学ぶ～ | 高 | 熊本 | 今村 智子 (熊本県立八代清流高等学校 教諭) |
| 7B | 伝え合うことを意識した表現活動の研究 ～プレゼンテーションと やり取りの実践を通して～ | 中 | 佐賀 | 小野原 理子 (嬉野市立嬉野中学校 教諭) 中村 成美 (鹿島市立西部中学校 教諭) |
| 8B | 個人・集団の学力データから指導方針への洞察を引き出すための分析ツール開発 | 高 | 宮崎 | 門田 直道 (宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校 教諭) |
| 9B | ともに学ぶ ～英語力と文化理解力の育成～ Teachers and Students as learners: Fostering English competence and cultural understanding | 小 | 長崎 | 永谷 美央子 ・ 寺崎 唯 (私立九州文化学園小・中学校 教諭) |

8 申込について

(1) 会費（資料代を含む）

一般参加者 4,000 円 小学校関係者 2,000 円 学生 1,000 円

(2) 申込期間

令和7年6月23日（月）～ 令和7年9月25日（木）

(3) 申込方法

下記の URL の大会サイトへ直接アクセスしてお申し込みください。

<https://www.kyu-eiren-nagasaki.com/>



※申込開始日より URL・二次元コードを読み込み、お申し込みください。

【大会申込に関するお問い合わせ】

(株)タイムリーツーリスト 長崎支店

「第73回九州地区英語教育研究大会（長崎大会）」係

〒850-0861 長崎市江戸町 6-5 江戸町センタービル8階 担当：堀・松尾・富永

TEL: (095)824-1910 FAX: (095)821-4806

Mail: d.hori364@kntct.com

【大会に関するお問い合わせ】

| | |
|--------------------------|--|
| 大会全般及び 高校の部に関する こと | 大会実行委員長 永山 一郎 〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷 3672 TEL: 095(883)6844 長崎県立長崎北陽台高等学校 E-mail: 70590kyushueiken@news.ed.jp |
| 中学校の部に関 すること | 大会副実行委員長 山本 将司 〒851-2107 長崎県西彼杵郡時津町久留里郷 53-5 TEL: 095(881)1720 時津町立鳴北中学校 E-mail: chu-meihoku01@mx.cncm.ne.jp |
| 小学校の部に関 すること | 大会副実行委員長 山本かおり 〒851-2128 長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷 659-2 TEL: 095(883)2004 長与町立長与小学校 E-mail: makinoki@ngsl.cncm.ne.jp |